【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	田布施町家庭教育支援チーム (呼称:チームたのじ)
②活動拠点	田布施町役場
③活動範囲	田布施中学校区
④組織体制	10 人 主任児童委員2人、民生委員・児童委員1人、公民館主事1人、元栄養教 諭1人、家庭教育アドバイザー3人、小学校運営協議会会長1人、SSW1 人
⑤活動開始年度	平成30年度
⑥問合せ先	(部署·氏名等) 田布施町教育委員会社会教育課 (TEL)0820-52-5813 (E-mail)shakaikyoiku@town.tabuse.yamaguchi.jp

(2)活動内容について

	図保護者等への学びの場の提供	
	団保護者等への地域の居場所づくり	
①活動形態 (複数チェック可能)	☑アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☑自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☑保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他(
②活動対象	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)☑中学生 □高校生以上	
(複数チェック可能)	の子供を持つ保護者に対する活動を実施	

【具体的な活動内容】

【チーム会議】

活動の振り返りや今後の活動内容の検討・確認を行う等、共通理解を図る場として、毎月1回を目安にチーム会議を開いている。

【中学校ステップアップルームでの見守り】

ステップアップルームで生徒とともに過ごし、自主学習をしている生徒を見守ったり、一緒に談笑したりしている。また、ステップアップルームを利用している生徒のすべての保護者ではないが、つながることができた保護者に対して、悩みや話を聞く相談も行えている。

【不登校等児童・生徒のいる家庭への訪問】

登校しぶり等で悩んでいる児童・保護者に対し、学校からの要請で、登校支援や保護者への情報提供や相談対応等行っている。

【たのじカフェ】

保護者や子育てに関わるすべての方を対象に、保護者どうしでつながりが もてる場を設定している。

③活動内容

【就学時健診での子育て講座】

町内4小学校の就学時健診で保護者を対象にグループワークを行い、子育 ての悩みや不安を共有し、子育ての課題を少しでも解決するための講座を 開催している。また、保護者どうしのつながりが創出されるよう工夫して活動 している。

【教育用品のシェアリング】

町内各小学校の在校生の保護者より提供いただいた教育用品を、それぞれの就学時健診の子育て講座を活用し、次年度入学する新1年生の保護者を対象にシェアしている。入学準備や学習に役立てたり、貧困家庭の支援にもつなげたりできるように取り組んでいる。

【子育て支援講座】

親子で行う図書館司書の体験や、親子でごはんをつくる講座では、保護者 どうしの横のつながりづくりだけでなく、親子間の絆を深めるために行ってい る。

④活動の成果

(活動実績がある場合)

・中学校ステップアップルームでの見守りやたのじカフェを通して、不登校等 児童・生徒の保護者とつながり、悩みや不安を聞くことができた。

・町のホームページの活用や小売店にチラシを掲載していただくなど、広報活動を行い、活動が周知していきている。

⑤活動財源 (複数チェック可能)	☑文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)	
	□文部科学省委託事業(事業名:)
	□厚生労働省事業(事業名:)
	□地方公共団体単独事業として実施	
	□特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)	
	□その他の支援により活動を実施	
	()